

2018
島根大学大学院
教育学研究科

教育実践開発専攻 (教職大学院)

Shimane University
Graduate School of Education
Department of Advanced
Studies on Teaching Profession

スクーラーリーダーを育てる。―山陰で唯一の教職大学院―



共に学びを深める専任教員たち

肥後功一
Higo Koichi
専攻長 教授



教育臨床心理学
教育相談・生徒指導
保幼小連携教育

原 広治
Hara Hiroji
教授



特別支援教育
通級による指導
地域療育活動

橋爪一治
Hashitsume Kazuharu
教授



情報教育
技術科教育
子どもの発達

松本一郎
Matsumoto Ichiro
教授



理科教育
環境教育
地球・宇宙教育

長 和博
Osa Kazuhiro
特任教授



学校・学級経営
教科教育
へき地教育

大島 悟
Oshima Satoru
准教授



学校・学級経営
教科教育

熊丸真太郎
Kumamaru Shintaro
准教授



教育経営学
教師教育学

久保研二
Kubo Kenji
准教授



教師教育学
保健体育科教育学
リフレクション

伊藤豊彦
Ito Toyohiko
教授



スポーツ心理学
(動機づけ・体育心理)
体育科教育
部活動支援

加藤寿朗
Kato Toshiaki
教授



社会科教育
生活科教育
総合的な学習

千代西尾祐司
Chiyonishio Yuji
教授



学校・学級経営
教科教育
ICT活用教育

三島修治
Mishima Syuji
特任教授



特別支援教育
学校・学級経営

池尻和良
Ikejiri Kazuyoshi
特任教授



特別支援教育
学校・学級経営

丸橋静香
Maruhashi Shizuka
准教授



教育哲学
道徳教育

宮崎紀雅
Miyazaki Norimasa
准教授



特別支援教育
学級経営
教科教育

Q & A

Q1 教職大学院は、これまでの大学院と何が違うのですか。

A1 地域の学校教育を牽引する専門家(スクールリーダー)を養成する大学院で、授与される学位は「教職修士(専門職)」です。山陰地域の教育課題(確かな学力、児童・生徒理解、学校・学級経営、へき地・複式教育、特別支援教育など)を深く追求し、広い視野から組織的に解決できる力を養成します。

Q3 教職大学院は、どのような教員組織ですか。

A3 専任教員は15名で、うち実務家教員が7名、研究者教員が8名です。共通科目は実務家教員と研究者教員が協働で指導し理論と実践の融合を図ります。多くの選択科目には多様な専門性を持つ兼任教員も加わるので教科の専門性を深めることもできます。また、研究テーマに迫る「課題研究」においては、1名の学生に主・副3名以上の指導教員が関わり指導にあたります。

Q2 学部新卒学生と現職教員学生の2年間の学修の仕方は同じですか。

A2 大学での講義・演習などは両者がお互いの強みを活かしながら協働で取り組みます。実習(教育現場での実践研究)については、学部新卒学生は2年間を通じて公立学校でのインターン実習に取り組み、教育実践力の向上を図ります。現職教員学生は勤務校を中心に研究テーマを追求する実習となります。

Q4 学生支援制度について教えてください。

A4 本学では、学生に対し入学料や授業料を免除する制度があり、いずれも「免除の基準」等が定められています。このほか、奨学金制度や授業料等奨学融資制度があります。詳しくは、島根大学教育・学生支援部 学生支援課(0852-32-6063)にお尋ねください。

教職大学院に関して、詳しくはwebで。
島根大学>教育学研究科
<http://www.edu.shimane-u.ac.jp/daigakuin>



2017年5月に開設した「鳥取サテライト教室」
(鳥取県倉吉市/鳥取短期大学内)



「考え抜く」授業と「身に落ちる」実践的学び
(教職大学院カンファレンスルーム)

教育実践開発専攻(教職大学院)

入学定員 17名(学部新卒学生等:9名程度/現職教員:8名程度)

修了要件 修業年限(2年間を標準とする※1)、修了単位(46単位)

担当教員 専任教員15名及び兼任教員59名

学 位 教職修士(専門職)
実習等を含めた2年間の本課程(専門職学位課程)の修了要件を満たすことによって取得できます。従来の修士課程と異なり修士論文は課しません。

免 許 小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状、幼稚園教諭専修免許状、特別支援学校教諭専修免許状
小・中・高・幼の専修免許は「教職に関する科目」を24単位、特支の免許は「特別支援教育に関する科目」を24単位修得することによって取得できます。ただし、当該免許状の一種免許状を有している必要があります。

※1 幼稚園教諭免許状または中学校教諭免許状(いずれも一種であること)を有する者が小学校教諭一種免許状を取得できる「長期在学(3年)プログラム」を開設します。

問い合わせ先

島根大学教育学部事務室 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
TEL:(0852)32-6251 E-mail:edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp

教育の未来が島根・鳥取から始まる

教育学研究科 教育実践開発専攻(教職大学院)専攻長 肥後功一

島根県、鳥取県は少子化や人口流出による人口減という社会構造上の大きな課題を共有しています。およそ25年後には、子どもの人数が現在の約6割程度にまで減少するという推計もあり、学校だけではなく地域をどう維持するかということが喫緊の問題になっています。しかしこうした現象は、遠からず都市部も直面するものであり、そういう意味で、島根県、鳥取県は未来の教育の「課題先進地」と言えるでしょう。加えて両県には豊かな自然環境や歴史的文化的資産があり、これらと結びついた人々の暮らしや産業があります。子どもの数が少ないことを、むしろ教育上の利点として活かし、豊かな教育資源や地域特性を十分に活用した特色ある教育を創り出す喜びが、この地域にはあるのではないのでしょうか。

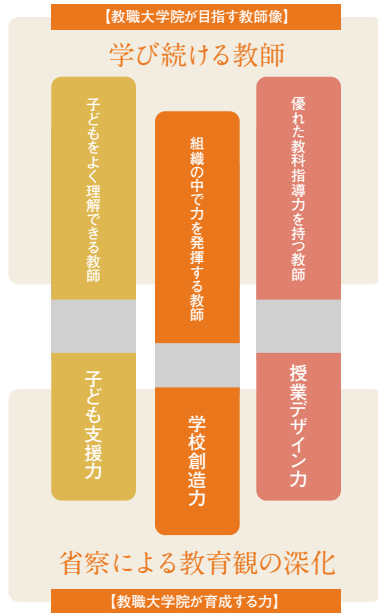
島根大学教職大学院は、山陰両県で求められる未来のスクールリーダーに必要な資質・能力を検討し、カリキュラムに反映させながら、地域の教育課題の解決に協働で取り組むために、島根県教育委員会、鳥取県教育委員会と共に「山陰教師教育コンソーシアム」を結成し緊密な連携を図っています。アクティブ・ラーニングを核とした「考え抜く」授業と、学校教育現場に直結した「身に落ちる」実践的学びを両輪に、実務家教員と研究者教員が、また現職教員学生と学部新卒生が、切磋琢磨しながら山陰地域の教育の未来に挑む大学院です。明日の教育を担う高い志をもつみなさんを心からお待ちしています。



島根県教育委員会教育長
鴨木 朗

島根県教育委員会は、「島根県公立学校教員人材育成基本方針」の中で、「学び続ける教員」の育成を大きなテーマに掲げており、中でも、学校マネジメント力を備えたリーダー教員の育成が急務であると考えています。

教職大学院の「スクールリーダーの養成」への取組は、まさにこの求めに合致するものであり、ここで学んだ教員が、島根県の教育を文字どおりリーダーとして牽引してくれるものと、大いに期待しています。



山陰の地域ニーズや 現代的教育課題に対応

地域の教育課題に関する研究テーマをもとに地域の学校と連携・協働し、教職大学院の学生と教員(実務家教員・研究者教員)が当該校の学校教育研究に入り込みながら、理論と実践を往還する学修を実施します。これにより、教師としての教育実践力の修得をはかるとともに、当該校を核とする地域の教育力向上を目指します。

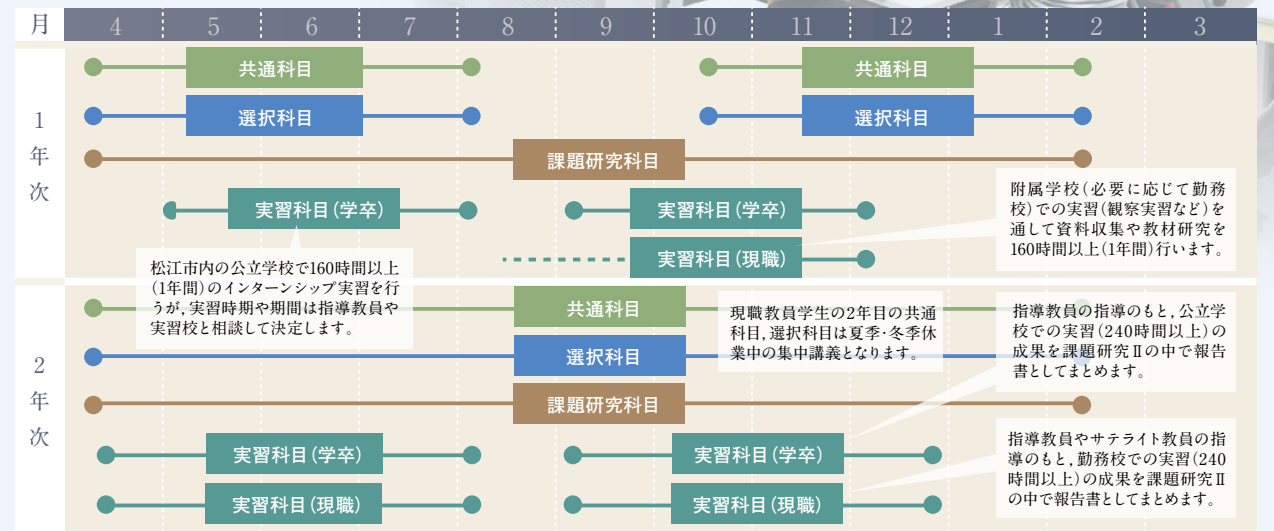
地域の学校が、今、取り組まなければならない課題に対して、教育実践を多角的に分析し、具体的な方策を構築し、組織力発揮の中核となるスクールリーダーを養成します。ICTを活用した遠隔研修や自己省察力を高めるための「教師力ナビゲーションシステム」を活用した新しい教育方法を取り入れます。

個々人の 「学修要求」を満足する オーダーメイド型 プログラム

キャリア発達に応じた科目選択が可能なカリキュラムを提供し、実務家教員と研究者教員の協働による指導の下での計画的な履修を行います。授業科目には、次の4つの区分があります。

- 共通科目**
教育実践の基盤となる5領域10科目を、講義や討議、ケースメソッドによる事例分析等を通じて深く学びます。
- 選択科目**
学校創造、授業デザイン、子ども支援の3群から各2単位を共通に学んだ上で、各自のテーマに応じ、さらに専門性を高めるための科目を選択して学びます。
- 課題研究科目**
教職大学院の2年間を通じ、現代的・地域的教育課題を探索する柱となる科目です。
- 実習科目**
課題研究のテーマに基づき、勤務校や地域の学校での教育実践研究を2年間にわたって行います。

教育実践開発専攻(教職大学院)の2年間



「理論と実践の融合」を目指した学修イメージ

例) 学部新卒学生Bさんの研究テーマ
「協働的な学習による言語力の育成」

高度な専門的知識に基づく 教育実践力の修得

